

# 下塚田ふるさと応援隊 月次報告書（令和8年2月分）

## 報告書概要

- 報告対象月: 令和8年2月分
- 作成日: 令和8年3月1日

## 1. 月次活動概要

### 定例会開催実績

開催日	種別	出席者数	主な議題
2月3日	下塚田応援隊定例会 #13	8名	拠点整備（砂利整備予算、電気 処理対応）、草刈りサービス進
2月13日	緊急役員会	7名	R7年度総括、R8年度に向けた計 と「自走」への最終ロードマッ
2月17日	下塚田応援隊定例会 #14	11名	R8年度事業計画提出報告、電気 処理報告、拠点整備（内装・外 スケジュール決定

### 特別会議・イベント

開催日	内容	参加者数	場所
2月1日	常幡圃場 溝掘り作業	37名（地権者）	常幡圃場（127,241㎡）
2月20日	駐車場 追加整地作業	有志	交流拠点予定地

## 2. 主要決定事項・取組み

### 2-1. 農用地保全・地域資源活用

#### 【取組み名】 常幡圃場 溝掘り実施（農用地保全活動）

- 実施日: 2月1日（日）
- 実績:

参加: 地権者37名

成果: 127,241㎡の圃場において、春の粗起こしや田植えに向けた入水・排水路の確保を完了。

- 意義:

1月の一斉野焼きから続く年間の農用地保全サイクルの一環であり、先人から受け継ぐ伝統的な共同作業として実施。

**【取組み名】 交流拠点整備の本格工事**

- **進捗状況:** 施工中
- **当月の活動と決定事項:**

予算・経費処理: 予算内で砂利の整備を実施。

内装工事: 2月17日より約1ヶ月間の予定で、塚田芳氏による作業を開始。

外装整備: 2月18日の現地確認にて事前の整地作業が不十分であることが判明したため、急遽2月20日（金）に有志による追加の整地作業（レベル計測・丁張り設置、タイヤショベルによる修正、手作業での基面整成）を実施した。その後、2月21日（土）8時より約10名体制でダンプ3台を手配し、再生骨材を搬入し、転圧ローラーを利用した屋外整地および駐車場整備作業を行った。ユンボ等の重機精算は返却後に実施予定。作業保険の手配も完了。

## 2-2. 生活支援・DX推進

**【取組み名】 R8年度事業計画および経費積算の策定・提出**

- **進捗状況:** 完了
- **活動内容:**

2月9日に県および国へR8年度の事業計画・積算資料を提出完了。

次年度は、スマート農業技術導入実証事業（リモコン草刈機のリース等：120万円）、直売所開設のための調査・検討（消防団格納庫の利活用：110万円）、デジタルリーフレット制作・発信自立化（90万円）などを盛り込んだ。

## 2-3. ビジョン策定・組織の自走化

**【取組み名】 組織の「自走」に向けたロードマップ策定（緊急役員会）**

- **実施日:** 2月13日（金） @創客創人センター
- **協議内容:**

R7年度（プロジェクトチーム確立、補正予算満額獲得、軽トラ市開催、EC/SNS開設など）の成果を総括し、以下の対応方針を策定（2/17定例会で共有）。

1. **収益モデルの確立:** レモン等EC販売の強化、軽トラ市の出店料および販売額に応じた付加金制度の導入。
2. **担い手育成:** 年間サポーター制度の導入による関係人口の組織的受け入れ。
3. **デジタル基盤の内製化:** 一部会員への依存から組織全体での運用体制へ移行。
4. **組織体制の継承:** 現体制からの円滑な移行と役割分担の明確化。

### 3. 地域貢献・成果

- **地域一体型の農用地保全の実践:** 1月の全世帯による野焼きに続き、37名の地権者が参加する大規模な溝掘りを実施し、地域の結束力と共助の仕組みが機能していることを証明した。
- **次年度への確実なステップアップ:** R7年度の実績を客観的に評価・総括し、「補助金依存からの脱却（自走化）」に向けた具体的な仕組みづくり（付加金制度、サポーター制度等）を合意形成できた。

### 4. 課題と対応策

- **当月発生した課題:**

駐車場整備において事前の整地不足が直前に発覚（緊急作業でリカバリ完了）。

デジタル情報発信（Web・SNS）の運用担当者の属人化。

- **対応策:**

【属人化解消】R8年度事業計画に「デジタル発信自立化基本構想策定支援費」「デジタル実装・引継ぎ研修費」を組み込み、次年度かけて体制構築を行う。

### 5. 次月の予定

#### 5-1. 定例会・会議予定

- **3月定例会:** 3月17日（火）午後6時～

#### 5-2. 重点取組み事項

1. **交流拠点整備の完了:** 内装工事の完工（3月中旬予定）と最終的な経費精算。
2. **R8年度体制の準備:** 役員改選・体制移行に向けた準備と、年間サポーター制度等の具体的な仕組みづくり。

**デジタルリーフレットの完成:** 今年度の活動を要約したリーフレットの制作および発行（3月末〆）。